

3 月留学報告書

先月と同じく、睡眠は毎日午後 10 時 30 分から午前 6 時 30 分までの約 8 時間を確保しており、日中に眠気を感じることなく、安定して学習に取り組むことができている。運動面では、週に 2 回のテニスクールに通っているほか、週 3 日程度の 5km ランニングと毎日の筋力トレーニングを習慣にしている。こうした取り組みの成果として、クロスカントリー大会では学年 2 位に入賞することができた。食欲も増しており、昼食には以前より多めの量を持参している。

交友関係も良好で、休日には友人と遊びに出かけたり、メッセージをやり取りしたりと、日々交流を深めている。特に親しい友人には、Sam、Xavier、Rain、Ewan、Nehan、Brydon、Samson、Daniel、Ben、Gurshant、Michael、Tom、Maddox、Coleby、Ashlyn、Marinda、Shante、Mitchel などがいる。留学当初の 1 ヶ月間は、いわゆる「挨拶を交わす程度の友人」が多かったが、この 1 ヶ月では意識的に会話の機会を増やし、信頼関係の構築に努めてきた。

学習面では特に困難を感じることはなく、STEM 分野においては 1 学期内にアワードを受賞した。将来の日本の大学受験を見据え、物理や数学の自主学習を進めているほか、英語力向上のため、寝る前に英単語帳での学習を行い、YouTube を活用して英語のインタビュー動画なども視聴している。毎日欠かさず英語の日記をつけており、英語力の定着とともに日々の振り返りにも役立っている。

ホストファミリーとの関係もおおむね良好である。食事は各自が自由な時間に済ませるスタイルのため、食事中の会話はまだ少ないが、日常生活の中で感謝の気持ちを忘れず、毎日のベッドメイキングや部屋の整理整頓など、自律的な生活を心がけている。

課外活動としては、2 か月前から続けて週 2 回地域のテニスクラブに通っている。また、学校内で募集のあったインドネシアからの留学生のバディープログラムにも参加しており、Term 2 からの活動に備えて準備を進めている。

学外では、QUT（クイーンズランド工科大学）のワークショップに参加し、ゼミナール研究のバイオ燃料に関する研究の一端を見学する機会を得た。東京大学との連携やサトウキビを利用した研究などに触れ、大きな刺激を受けた。さらに、Brisbane Motor Museum を訪れ、過去と現在の自動車を比較しながら環境への配慮についても学びを深めた。

Term 1 終了後のホリデー期間中は、だらだらと過ごす日がないように心がけ、映画鑑賞やショッピング、シュノーケリングなどのアクティビティを楽しむとともに、英語学習にも力を入れている。特に関心のある F1 に関する記事を読んだり関係者のインタビュー動画を観たりすることで、楽しく学びを深めている。また、日本の大学受験に向けて、数 B の教科書や物理の問題集をホリデー中に半分ほど進める予定である。加えて、これまであまり経験のなかった料理にも挑戦し、インターネットでレシピを調べながら、卵料理以外のレパートリーを増やすことを目指している。

生活面では、筋トレ後にシャワーの時間が遅れがちであったため、すぐにシャワーを浴びる習慣を定着させ、より効率的な生活リズムを整えている。また、部屋の整理整頓を日々行い、快適な学習・生活環境を保っている。今後は、バイオ燃料に関するアンケートを実施し、その結果をもとに PowerPoint を用いた発

表資料を作成し、Term 2 から 3 にかけて中間発表を行う予定である。インドネシアからの留学生を適切にサポートできるよう資料をしっかりと読み込んでおきたい。

